

議会報編集委員会記録

1 日 時 平成29年9月13日(水)

開会 午前 9時58分

閉会 午前11時02分

2 場 所 第2委員会室

3 出席議員 10人

委 員 長	高 田 重 信
副 委 員 長	松 井 桂 将
委 員	松 井 邦 人
委 員	金 谷 幸 則
委 員	岡 部 享
委 員	木 下 章 広
委 員	舎 川 智 也
委 員	高 田 真 里
委 員	高 道 秋 彦
委 員	小 西 直 樹

4 欠席議員 0人

5 職務のため出席した職員

【議会事務局】

事務局 長	中 田 貴 保
事務局 次 長	岡 地 聡
議事調査課 長	福 原 武
議事調査課 主 幹	坂 口 輝 之
議事調査課 副 主 幹	朝 倉 雅 彦
議事調査課 調 査 係 長	牧 野 仁 美
議事調査課 主 査	高 畑 明 美
議事調査課 主 任	桂 川 卓 也
議事調査課 主 任	野 島 美 央

6 協議結果について

1 とやま市議会だよりのレイアウトについて

協議の結果

レイアウト（案）のとおり決定。9月定例会号からとする。

2ページ、3ページの定例会の概要のところに、賛否一覧へつながるQRコードを掲載する。

2 とやま市議会だよりの検討事項について

※（1）から（11）については、8月21日の議会報編集委員会にて協議済

（12）紙面の内容を充実させつつ、費用もバランスを取れないか、多角的に再検討を行う。

（提案の趣旨：市議会だよりの紙質、配色、構成、デザイン、内容面や制作から各ご家庭への配付までにかかっている印刷・配送費用などを割り出して、総合的に見直しを行って、一層の充実、新しさや変化を表現できないか検討を試みる。）

協議の結果

今年度は、現状どおりとする。（ページ数を増やすことについては、今後検討していくこととする。）

（13）一般質問

（提案の趣旨：①1ページに2ないし3名を記載 ②質疑項目をできるだけ記載する。（問、答を）③問答記載以外は、質問項目を記載する。）

協議の結果

①②現状どおりとする。

③質問項目を掲載する。9月定例会号から対応する。（質問項目が多い場合は、スペースに収まる分を記載し、収まらない分は、その他と記載する。）

（14）一般質問

（提案の趣旨：質問項目（見出し）をすべて掲載する。）

協議の結果

質問項目を掲載する。9月定例会号から対応する。（質問項目が多い場合は、スペースに収まる分を記載し、収まらない分は、その他と記載する。）

（15）（16）（17）委員会視察の報告を充実

（提案の趣旨：委員会視察の報告を充実。各常任委員会の他都市への行政視察の活動報告を掲載することによって、市民の方に委員会活動を知ってもらう。）

委員会や視察報告を充実させる。)

協議の結果

目的、目的地、視察地、項目、視察しているところの写真を掲載する。9月定例会号から対応する。

(17)(18) 委員会の報告

(提案の趣旨：委員会報告を充実させる。常任委員会の質疑・答弁を記載する。)

協議の結果

委員会報告については、これまでよりも充実させる。9月定例会号から対応する。常任委員会の質疑・答弁を記載するについては、現状どおりとする。

(19) 写真

(提案の趣旨：議案に伴う写真の掲載を増やす。)

協議の結果

できるだけ写真の掲載を増やす。写真は、レイアウトを固めるのではなく、できるだけ散らして掲載する。9月定例会号から対応する。

(20) キャッチコピー マーク

(提案の趣旨：市議会、市のキャッチコピー 市議会だよりのマーク 公募)

協議の結果

市議会だよりのマークの公募は時間がないため、富山市のキャラクターであるペロリッチを議会報に入れていくこととする。9月定例会号から対応する。

(21) 各市町村からの視察受け入れ報告

(提案の趣旨：月日、視察受入議会名、主な視察項目を掲載する。)

協議の結果

掲載する。9月定例会号で対応する。(毎回掲載するかどうかは、レイアウトを見ながらきめていくこととする。)

(22)(23) 討論

(提案の趣旨：討論を記載する。HPに追加になった討論等も記載する。)

協議の結果

現状どおりとする。(スペースの関係から難しいため、ホームページ等で案内していくこととする。)

7 会議の概要

委員長

ただいまから、議会報編集委員会を開会いたします。

協議にさきだちまして、委員会記録の署名委員に、岡部委員、木下委員を指名いたします。

これより、本日の協議事項に入ります。

本日、ご協議いただきますのは、さる7月4日にご意見のありました見やすくわかりやすい「とやま市議会だより」のレイアウトについてと、「とやま市議会だよりの検討事項について」であります。

7月4日と8月21日の当委員会で、協議し決定した事項と、本日協議します検討事項の短期的課題2の中で採用可能なものを事前に正副委員長で協議しまして、レイアウト案を作成し、事前にお配りしておりますが、改めてお手元に配付しておきましたので、ご覧ください。

短期的課題2について、後ほど協議をし、掲載を見送るとなれば、案より削除していきたいと思えます。

それでは「とやま市議会だより」の短期2以外のレイアウトについてご協議いただきたいと思えますので、レイアウトについて事務局から説明願います。

議事調査課長 〔資料により説明〕

委員長 ただ今、レイアウトについて説明を受けました。

細かい内容につきましては、また後ほど協議していただくということで、大筋このレイアウトについてご意見をお伺いしたいと思っておりますので、ご発言を。

木下委員 まず、本会議開会中のお忙しい中に、私たち委員から出されたアイデアをもとに、レイアウト（案）を準備していただきましてありがとうございます。お疲れ様でした。

今、富山市議会では議会改革を進めているところですが、合わせてこの議会だよりも、デザインとかレイアウトを新しくすること、変化を付けることが、読み手である市民の皆様により市議会が刷新されていく前向きなイメージをお伝えできて、なおかつ、市議会だよりについても今までとは違う新鮮さや興味を持って読んでいただけることにつながります。

ですので、変化を付けるということで、このレイアウト（案）で大筋良いかと思っておりますが、ただ、いくつかありまして、まず、一つ目がすでに前回も話が出ていたのですが、議会だよりとホームページの連動

性を高めることが、やっぱり議会としての発信力を高めることに効果的だと思いますので、今表紙のほうには富山市議会のホームページにつながりますQRコードが載っております。ですので、レイアウト（案）をめぐっていただいて3ページですね。

「議案・意見書・請願の会派別賛否一覧」が一番上のところにあるのですが、その下に文章が書いてありまして「全ての議案に対する各会派の個人ごとの賛否の一覧表を富山市議会のホームページに掲載しています。」と、こここのところの右横のあたりにでも、QRコードを入れていただいて、富山市議会の今のホームページの「本会議での審議結果等」9番目があるのですが、

「会議録等の公開」のところの「議案等に対する賛否」というところがあるのですが、このページにつながるようにすれば一気に飛べるようになるので、なおのことわかりやすいかなと思いました。

また、現行の富山市議会だよりの文字の大きさが、なかなかいいかなと私は思ったのです。あまり小さくすると高齢者の方にはちょっと読みづらいかなというのもありまして、ただ、紙面の大きさは限られていますので、新しいレイアウト（案）でも、大きくできるところはフォントを若干大きく

するよう心がけていただけたら読みやすさにつながってくるかなと考えております。以上です。

委員長

ちょっと細かいところも入りましたが、レイアウト自体には、賛成ということで、よろしいですか。ほかにありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長

ないようでありますので、このレイアウトにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、レイアウトは、このように決定いたしまして、次の定例会号からこのレイアウトにすることとします。写真などは、この間言っていたようなことも含めて、それでは、レイアウトはこのように決定いたします。

それでは、協議事項2番目の「とやま市議会だよりの検討事項について」、短期的課題2について順次協議していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

まず、12の「表紙・デザインの紙面の内

容を充実させつつ、費用もバランスを取れないか、多角的に再検討を行う。」という項目について事務局から費用内訳等について説明をお願いします。

議事調査課長 〔資料により説明〕

委員長 ただ今、紙面についての説明を受けましたが、ご意見等ありますか。

小西委員 今、説明があった中で、次のところの13で、1ページに2、3名を記載するということになれば、ページ数が増えるわけですよ。ということは、年度中はできないということになるのでしょうか。

議事調査課長 年度途中でページ数を増やすことは、契約変更になりますので、できないということになります。

委員長 原則です。

小西委員 原則ですね。

委員長 ということで、契約の変更はしないということで3月議会までは。業者さんが、用紙だとか全部準備されているということも聞

いておりますので、紙の種類も含め用意されているということもあるので、やるとすれば、今日の議論を踏まえながら時期なども含めて意見を言っていただければと思います。

木下委員

今、事務局からご説明をいただきまして、今後なのですが、今年度はできないにしても、今後、紙代と印刷代が半分ということなので、紙代をいじったりすることによってページ数を増やしたりとか、そういったこともあり得るということではいいですか。

委員長

そうです。今後の課題として、紙代を減らして、ページ数を増やすといった議論に入っていくかなと思っておりまして、今回はこういったことをご理解いただきたいということです。

木下委員

はい。わかりました。

委員長

それでは、今年度は、この紙質とページ数ということについて契約どおりということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのように決定いたします。
次に、短期2の13、14についてです。
「一般質問」についてでありまして、さきほどのレイアウトに盛り込んだ内容であります。このページについての細かい内容について何かご意見がありましたらお聞かせください。

松井邦人委員 2ページ目、3ページ目のところに、ネット中継されている項目を以前の時もそうだったのですが、後半のほうに入れてあって、本来、本会議とか定例会といったところと一緒に記載してあるほうが見ている人にとってはアクセスしやすいという感じなのかなと思うので、「ネット中継が今見られますよ」といったことの文言を2ページ目、3ページ目の中に記載していただけるようにできないかなと思います。

委員長 先ほど、木下委員のQRコードのことも含め、どうですか。

議事調査課長 インターネットの録画中継のことでよろしいでしょうか。

松井邦人委員 もう生中継は終わっていますものね。

議事調査課長 生中継は終わっています。録画のところ
いいですね。おそらく可能だろうと思いま
すので、検討したいと思います。

委員長 QRコードは。

議事調査課長 QRコードは、作ることは、比較的簡単に
できますので問題ないと思います。

委員長 この質問のスペース、今回すごくたくさん
の方が質問をされたということもあって、
前回よりも字数も減るのかなと思います。
その中で、質問項目も載せるということで、
質問項目がたくさんある方は、全部載せら
れるのかということは、大変厳しくなっ
てくる中で、一般質問について何かご意見は
ありませんか。

小西委員 5ページですと、1ページに5人になっ
ているのですけれども、ほかのページだと6
人になったりしているのですが、大変だ
と思うのですが、できればここにある写真
のスペースが、6月議会ですともうちょっと
小さくして、議員の質疑の内容のスペース
をとって、そういうことをやって、なる
べく質疑の内容を、原則的には、各議員同
じスペースを使わなくてはいけないと思
うのですが。

委員長 同し議員の中で、このスペースの大きさは崩したくないという思いであります。この写真の大きさについてはどうですか。

議事調査課長 写真の大きさも、いろいろと小さくすることは可能です。議案に関係したような写真を、以前のように載せられれば良いのですが、実際、そういう写真があるかどうかはまず調査しないとはいけませんので、写真の大きさを変えて何枚も載せることは可能です。

委員長 写真が何枚も載せられるのですか。

議事調査課長 ここに1枚大きなものを載せるのではなくて、4枚ほど写真を載せること、そういったことは可能です。

委員長 議員の質問のスペースは、この大きさでしていかないと割り振りができませんよね。

議事調査課長 おそらく質問のところは、スペース的に写真を載せる余裕はないのではないかなと思います。

委員長 顔写真で精一杯ですね。

舎川委員

デザインの細かい話なのですが、以前の議会報でしたら、一般質問をされた方が、全部載って、ここに写真が載るのはすごくいいと思うのですが、この写真をもう少しレイアウトを変えて、あまり議会報が「一般質問報」のようになっているような感じなので、デザイン的にもう少し写真をこっち、小さいのをこっちというふうにレイアウトをもう少し変えてみたりするのはどうかと思います。

それから、議員の写真も、実際に今、議場で発言しているときの写真がありますね。あのようなものを載せて臨場感を出したりというのはどうかと思います。

委員長

今、舎川委員のほうから、写真のレイアウトはなかなか今すぐのところが見えるかどうか技術的なものが、見た目を含め、アクティブな写真が載せれるかということでしたが。

議事調査課長

写真につきましては、これまでのように、1ヶ所にかためるのではなくて、多少ちりばめたということ、議員さんにおしゃっていただきましたが、それができるかどうか、また検討していきたいと思います。顔写真のほうですね。新聞に載っています

とおり、こちらで撮っています。今までそれを使ったことがなかったので、うまくいくかどうか、今後やってみたいと思います。

委員長 議員によって、普通のこの写真のほうがいいという議員もいます。質問しているのが良いという、それを確認しないとイケませんね。

高田真里委員 何ショットも撮ってもらわないと。変なのだと、これは嫌だといったことにもなります。

委員長 それこそ、編集の時に議員に確認しないと、その手間が大変だと思います。

議事調査課長 新聞に載っている顔写真はこちらで撮ったもので、提供しておりますので、その中で見ていただいて選んでいただくかですね。どういうふうになるのかはわかりません。新聞は四角なものですから。

委員長 そういうことも次やってみますか。今までどおりの写真にしますか。

松井邦人委員 ただ、今回26人の議員に、どの写真がいいですかと、何枚も提示してやっていると、

それだけで相当時間がとられると思うので、それが市民にとって、プラスなのかなと。正直な話、私たちの自己満足の世界に入っているところがあるのかなという感じもします。そこにエネルギーを注ぐのなら、ほかにエネルギーを注ぐほうが今はいいのかなと。質問する人数が少ないようであれば、そういった時間も、実際やられる作業のことを考えると、負担が大きいのではないかなと正直思いますので、もうちょっと慎重に考えたらいいのかなと。

委員長

写真については、原則、今までどおりという形の中で進めていくということで、次の機会に、また、どうするかを含めて検討していきたいと思います。ほかに。

〔発言する者なし〕

委員長

それでは、ないようですので、この程度にとどめますので、一般質問とレイアウトにつきましては、この通りという形の中で。

岡部委員

すみません。委員長、ごめんなさい。ちょっと乗り遅れてしまって。質問項目のところが、非常にどういうものを載せるかが難しいと思うのです。それぞれ。大きいとこ

ろはいいですよ。それぞれで、これを出して欲しいということで、当局の答弁はこれという感じですから。下の細かいところ、項目のところについては、先ほど通告書の内容みたいな話がありましたが、それによってずいぶん違うというか。昨日なんかでも1個だけどんと「農業について」みたいなものだけの人もおられたりする。中に細かい質問がたくさんあるので、多い人は20何項目の質問をしたりしているところですから。それぞれから何項目か主だったものを、こういう内容を質問しましたという形になるということなのですかね。

委員長 大項目ですか。

議事調査課長 質問通告書の大項目を考えております。

岡部委員 たぶん、その大項目で行けば、中身がわからない部分が、非常に質問の内容として出てくると思うのです。昨日でも、「農業について」という感じであれば、議員自らがこういうところを質問したという中身を5つなら5つとか、認定をして記載したほうがわかりやすいのではないかというふうに思うのですが、どうですかね。

委員長 一般質問のこれは、あくまでも1つを絞って議員が希望するものを載せて、前回意見もあって、質問項目を載せたらどうかというご意見があった中で、こういうふうなレイアウトをとった中で、先ほど皆さん、レイアウトをこれで、大体このような感じで良いということでしたが。

岡部委員 それで、その下の質問項目のところを。

委員長 項目だけをまた細かく書くと。

岡部委員 書かないということなのですか。

委員長 そうということです。

岡部委員 やらないということですか。

議事調査課長 質問通告書に書いていただいた大項目です。

委員長 大項目のみです。

高田真里委員 1つの人は1つだけ。

委員長 1つの人は1つなのです。3つ挙げた人は、1つは1つで大きく細かく載って、あとこういうことも質問しましたよと市民の皆さん

んにお知らせ。見るとこれ1つだけが質問という方もおられる。そうではなくて、大項目でほかにもこれもやっていますよということ。全部ではなくて。

岡部委員

全部は載せられないので、それぞれ先ほど言いましたように、中身とすれば質問とすれば、20くらいある人もおれば、5つくらいの人もおられる。昨日、2つの人もおられましたが、そこらへんの中身が。

委員長

あくまで、大項目だけ。細かい、中、小といった項目については、そこまではいかないということです。

岡部委員

なんとなく、市民の中には、中身を見てもわからない人も出てくるかなと思ったもので。

副委員長

基本的に、今言われているように通告書で、結局、大項目を選んで、その中に小項目で、皆さん載せるお話ですけれども。

やっぱり、それぞれの、次はもうちょっと項目として、最初に通告書に書いておけば、それで済む話なのですよ。

それをあえて書かないから農業だけという表現になってくるわけで、そういうことで、

ここは、基本的に大項目を文字数で載らない部分は、若干の編集も必要だと思いますが、与えられたスペースの中でやっていくということによろしいのではないですか。

委員長 確認いたしますが、質問項目を大項目で載せるということによろしいですか。

小西委員 大項目で例えば1項目だけの人もいたわけですね。その人については、下の項目の欄を使って、その間の中でいくつかその間を詳しく書いたりすればいいのではないかと思います。下の項目がなくなるわけですね。結局。

舎川委員 関連性がわかればいいということですか。

岡部委員 私が言っているのは、上は上でそれぞれ一番主張したかったことが載ってくるわけですね。そのの当局の答弁と。下の部分は、大項目だけ、今、今回の通告書をまとめてもらっていますけれども、それぞれの議員が大項目を5つ書いている人、1つしか書いていない人がいるわけで、大項目だけ載せますよということであれば、これはこの9月議会の会報からスタートするのはちょっとまずいような気がしたのです。なぜか

というと、そうなのだったら、細かく書いておくという人もおられると思います。大項目として5つぐらいにまとめて。あると思うのですね。2つしか書いていないけれど。

委員長

でも、議員は、一般質問をするときには、自分はこれがやりたいのだという思いで質問されたわけです。これを載せるか載せないかは、これはあくまで議会報の1つの役割の中で、お知らせするという役目で報告を作るものであり、それは議員の意識の問題になってくると思います。

今回9月議会で出したことによって、次はそうしましよと理解してもらえればいいのではないかと。そんなに負の部分になるとは思いませんが。

岡部委員

あまり、しつこくこだわりたいくないのですが。今回、それなら出しておけばよかったと言われると、急に中身が変わるものだから。

委員長

それだけ紙面も大きく変わっていくという意識をもっていただければありがたいなと。ただ1項目だけであった部分が、これが1つの議員のスペースだとしたら、少し質問

の中身の字数が増えるのでは。この網掛けになっている部分も含めて1人のスペースという捉え方でいけば、1項目であれば、ここの部分が少し増えるという可能性も出てくるのでは、その分はその分のまた利便も出てくるのでは、ということよろしいですか。事務局のほうはよろしいですか。

議事調査課長 それは、できるだけ同じで。

委員長 原則は同じなのだけれども。

議事調査課長 それは、ちょっとやってみないと。

松井邦人委員 今、岡部委員が言われたのもあるのですが、実際、今こういう形でスタートするのはもちろんいいのですが、それを踏まえて、どういう人がおられるかわからないから、仮定の話で申し訳ないですが、こういうことがあるのだったら、質問項目をわざと増やそうという人もいる可能性はゼロではない。だから、ある程度、すべてを載せるというよりも、制限を決めた上で出しますよという形のことを、事前に伝えた上でやらないと、それじゃあ、今回、次の12月の時は、項目をここに載せるために増やそうという考えを持つ人もいないわけではないという

可能性もあるということを認識した上で、これを決めておかないと、載せると言っていたのに載せてないのではないかということと言われることだって起こりうる可能性がありますので。

委員長 だから、さきほど私が言ったように、この項目は、全部は載せられませんよということを行いました。

松井邦人委員 すみません。それを念押しして。

委員長 それは、皆さんにしっかり伝えるつもりです。

松井邦人委員 伝えていっていただければと思います。

委員長 あくまでも限られたスペースの中の話なので、そういうこともある心配も含め、それは議員の良識というところも含め、これだけのスペースを取って、少しでも議員の皆さんの思いを伝えるということです。

松井邦人委員 少しでも知ってもらうための手法として使うことを再認識してもらって。今、なんかどんどん違う方向に走って行く可能性があるかなと、一瞬怖くなったので。

委員長 それはないように。あくまでも、大項目を載せるとして3つか4つくらいなので。それでは、質問項目を掲載するというところで、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのように決定させていただきます。

それでは、次に、15、16、17について、協議していただきたいと思います。委員会視察の報告について、皆様のご意見をお聞かせください。

高田真里委員 今までは、この委員会の行政視察報告を、載せたことはなかったのですか。

委員長 行政視察の報告は、昨年だけスペースの関係があって出ていなかったということであり、その他の年については、小さく出しています。

高田真里委員 結局、この小さいスペースで、項目だけというよりも、ここでどこに行って、どんなことを聞いてきてという情報を載せたほうが、委員会はそういうこととして、富山市のためにこんなことを勉強しているという

ことが伝わっていいかなと思います。
その下の行政視察受け入れ状況は富山市が受け入れた件数なのですが、確認ですが、これも議会報に載せる範疇になるのですか。視察を受け入れるのは、誰が受け入れているのですか。議長ですか。

議事調査課長　　そうです。

委員長　　あくまで、相手の議会から要請があって、この議会で受けて議長が承認したものです。今ほどの視察の載せていく概要としては、日程、視察地、視察項目と委員長報告と写真で構成していきたいと思っています。今までよりスペースをとってしっかり伝えたいと思います。委員長報告は、ボリュームがあるため、載せられないそうです。

小西委員　　希望ですけど、行政視察の写真を見ると会議の様子なので、できれば施設だとかを見ているような動きのある写真を入れてはどうでしょうか。

岡部委員　　案ですから。

委員長　　今はとりあえずの案で、写真はそこに行っ

ている現場がわかるような写真でいきたいと思います。

木下委員 この意見の中にも、一般質問がメインになっているかもしれないという話もありましたから、一般質問以外のところを見させていただきましたら、過去のものよりも大きく行政視察の報告のコーナーを取ってあるのは良いと思います。
あちこちにベタベタ貼るのもあれなのですが、もしよかったら行政視察報告のコーナーにもQRコードを入れて、飛べるようにしたらいいのかなと思ったのですが、皆様のご判断をお聞きしたいと思います。

委員長 すぐに、視察項目のところにですか。

木下委員 視察の報告のページがありますよね。1案です。

委員長 テクニク的には全然問題ないです。

松井邦人委員 正直な話、今の状況でQRコードだらけだと、果たして見やすいかという問題が今度出てくるのかなと思うので、一般質問のところに関しては、個人という部分では必要だから、そこに入れるというのは、わかる

のですが、たくさんありすぎると、良くないのかなと。見た目がごちゃごちゃするというイメージが出てくるのかなと思います。

委員長

最初のページの議会のほうに、飛んでいただければ、そこから入ってもらえますから。紙面の見やすさとか、見た目も大事かなと思います。

高田真里委員

この載せる内容は、委員会で行った場所とか項目だけですか。そうやっていろんなところに行ってきましたというだけの報告に、取られるとどうかと思ったのです。委員長報告までは、載せられないということなのですが、そういうものがないと、ただあっちへ行ってきました、こっちへ行ってきましたという報告だけでは、読んでいる人が、そのように思わないかなという懸念があったのです。

委員長

視察項目の中に、こういう目的を持って、厚生、総務文教委員会なら、こういう目的を持って行って、ここでこういうことを勉強してきましたという内容については、所感までは、ちょっと書けないと思います。

高田真里委員

目的とかが入れば。

委員長 そういう目的を持って行ってきましたというものは、入れるということで。

岡部委員 今の話で、それぞれ委員会で、視察に行く前に、ここへはこういう目的で行きますというのをやっていると思いますので、その部分を載せておけばいいと思います。それぞれの委員会での中身をね。報告まではどうかと、それぞれの取り方がありますので。それを入れてもらわないと困る。

委員長 ほかにないようですので、この委員会視察の報告については、決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

議事調査課長 視察目的まで載せるスペースがあるかどうか、ちょっと心配です。大きな見出しで、市政を良くするためにこういう視察をしましたとかまとめたものは書けるのですが、一つ一つ書けるかどうか、ちょっとやってみないと。

特に、最近見ていると視察項目も以前から見ると増えています。視察に行っている市も増えていますので、ちょっとそのへんが心配です。

委員長 中身については、ただ行ってきましてただけではなく、委員会はこの目的で行っていますということです。

議事調査課長 あと、ホームページでも見れますし、報告書は閲覧もできますので、そういったことも載せたりして。

委員長 中身については、もう一度、正副委員長できちんと協議して何のために視察に行ったのか。今の皆さんの意見を踏まえて、ただ行ってきましてただけではなく、しっかり目的を持った視察であることをしっかり伝えたいと思います。
それでは、視察報告の紙面はこのようにするということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのように決定いたします。

委員長 それでは、17、18のところではありますが、さきほど、17の意見がありましたが、18「常任委員会の質疑・答弁を記載する」ということについて、皆様のご意見を伺いたいと思います。
前回もあったと思っているのですが、ス

ペース的なものとか、読みやすさを考えるとどうなのかということと、今度6月から常任委員会の質疑答弁は、ホームページに掲載することになりますね。

議事調査課長 6月分から、月曜日の日に掲載されました。

委員長 6月議会から、常任委員会の会議録がホームページに掲載するのですね。

議事調査課長 6月分から、定例会の常任委員会の会議録がホームページに掲載しました。月曜日にホームページにアップしましたので。

委員長 この記載の件について、ご意見はありますか。

木下委員 今、6月定例会のものを見させていただいているのですが、基本的にはそんなに変わらない感じですよ。一部の要旨を取り上げていただいた。詳しくはホームページで議事録が載ってくるので、これでいいのかなと私は思います。

委員長 よろしいでしょうか。それでは、ほかにご意見がないようですので、本委員会として、決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように決定いたします。
次に、19の「議案に伴う写真の掲載を増やす」ということで、さきほどもありましたが、このことについてはどうですか。

議事調査課長

先ほども言いましたように、写真のほうは、散らしたりするレイアウトも考えたりしながら、顔写真のほうはとりあえず従来どおりで、できるだけ写真のほうは、具体的な写真があれば、多く載せるようにしていきたいです。

委員長

写真のほうは、編集の中で、正副委員長等で決めまして、また出すときにレイアウトを皆さんに見ていただくということでいきたいと思います。それでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように決定させていただきます。
次に20番であります。キャッチコピーのことです。さきほど、表紙に載っていた写真「ペロリッチ」について、このことに

ついて、何かご意見は。

木下委員

面白い試みなのではないかなと思います。市議会だよりを通して、ホームページを通して、公募してもいいのかなと思います。市のキャッチコピーは確か「立山あおぐ特等席」だったと思います。市議会、市議会だよりのマークはいいかなと思います。面白い試みです。

委員長

なかなか公募してやっていくのも、時間がないので、皆さんの意見をまとめていくのも大変なので、あくまでも富山市が採用しているキャラクターを活かしてやっていきたいなと思っています。ペロリッチを載せてもらったのですがいかがでしょうか。

高田真里委員

これは、これですごく良いと思うのですが、ペロリッチがネット上で、質問を出したり、何かしていませんか。富山市の広報で。そこに議会のことも何か載せてもらえると、紙面上の話ではなくなってしまうのですが、そしたらペロリッチが、ここで市議会のホームページをアピールするのもいいかなと思ったので。紙面上ではないですが。すみません。

委員長

広報課に伝えておきます。ここに吹き出しをつけてもいいかなと思います。よろしいですか。ご提案があれば。それでは、この「キャッチコピー」をとりあえず、今回この位置で、こういった形で、やってよろしいですか。それでは、そのように進めさせていただきますので、決定いたしますので、よろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

そのように決定いたします。

続きまして、21の「各市町村からの視察受け入れ」のことにつきまして、先ほども話があったのですが、議会から議会の中でということで、あくまで議会同士のことです。委員会ごとの件数とかどこまで載せるのか。細かい内容はどうですか。

議事調査課長

今、考えておりますのは、受け入れ件数と、多い視察項目です。主な視察項目、例えば「コンパクトシティ」ですとか「富山型デイサービス」ですとか、多いものを3つほど入れて、あとは4月以降の全体の件数です。そういったことを載せてはどうかと考えております。

委員長 一つはこれを入れることによって、この富山市議会が、それだけ県外から注目されているということで、お知らせしたらという趣旨でありまして、ページを取りたいと思います。何か皆さんのご意見は。

舎川委員 今、委員長がおっしゃったように、富山市の方に、県外からどういったものが興味あるのかを見せるところですね。先ほどおっしゃった「コンパクトシティ」や「ディサービス」、こういうことが富山って他の県から、他の市から見たら興味を持たれているのだなということを見せる意味でも良いかなと思います。それは賛成です。

高道委員 それは一番いいことだと思うのですが、1回目はこれで良いと思うのですが、たぶん次の号も同じ項目が出るのではないかと考えるのですけれども。その時は、また違う方向性を変えたような形で次のことを考えることも大切かなと思います。

委員長 そうですね。

木下委員 私も高道委員と同じことを考えました。毎回載せるのか。1年に1回まとめて載せるのもいいのかな。市議会のホームページ

のほうに、年度別の受け入れ件数や多い項目が載っているのので、市議会だよりのほうでは、集約して載せても良いかなと思います。

議事調査課長 特に、今回行政視察の受け入れ状況を入れた理由は、こちらのほうから行く常任委員会の視察があったので、それに対して富山市もこれだけ受け入れていきますよということが、PRできればと思って、今回入れさせていただきましたので、毎回、毎回入れるかは、スペースの問題もありますし、毎回入れる必要はないと考えております。

委員長 また、その時の議会報編集委員会の中でどうするかということも含め検討していくということで、一応入れるのだけど、毎回入れるかどうかはその時その時で決めていくということで、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのような形で、決定させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、最後の22、23の「討論を掲載する。」ということにつきまして、皆さ

んのご意見をお聞かせください。

小西委員 スペースが限られているので、最後のページか、3ページ目に載らないかなと思います。

委員長 前回もありましたが、討論の中身が中途半端になって渡ってしまうと、そのように捉えられる方がいるので、それなりにしっかりしたスペースを取らないと、なかなか討論の内容を記載するのは、現在のところでは、スペース的に厳しいのかなと正直思いますが、ほかにご意見はどうでしょうか。

松井邦人委員 今、委員長も言われましたが、討論の賛成、反対については字数が相当多い中で、限られた紙面の中でその一部分だけ切り取るとそれが本当の意味で伝わるかどうかという部分はものすごく大きな違いが出てくると思いますので、趣旨として伝わらないと思います。載せるのであれば、全部載せないと趣旨は絶対に伝わらないと思いますので、この紙面上の中では意味がないと思います。

岡部委員 これは、事務局のほうで300字くらいでまとめてくださいという形になっています

よね。賛成、反対の討論をホームページに載せる、そういう関係で。趣旨は300字で収めて載せるようにできると思うのですよ。実際、ホームページにもそれを載せているわけですよ。全体の字数は決まっていなくても、その趣旨を凝縮して300字でまとめてくださいとこういうふうになっていた。私も書いたものですから。そのくらいなら、載せられると思います。賛成、反対の討論の数が多いと、非常に困るのですけどね。

委員長 一つの賛成討論だけというわけにはいかない。載せるのであれば全部でしょう。

岡部委員 結局たくさん出てきたらということがありますね。

委員長 これは、今後、ページ数が増えていけばということ。今は10ページ。3月議会は16ページ。そのページ数の関係も絡んでくるわけでありますので、このことについては、次年度というか、大きなページ数の予算、一番最初に戻りますが、紙面、紙質も含め、内容も含めということの中で、この討論を載せることを持ち越しの意見としていきたいなと思うのですが。

副委員長 やっぱり、もう完璧にスペース的な問題です。今年度のページ数、現状では難しいということで、次年度にわたっても同じような多さで出てくるのであればいいですが、もうここで、既にどうしようもないなという判断を。

岡部委員 ホームページで見られるということさえ主張してあれば良いと思います。

委員長 ホームページで見られますと書いてあります。

岡部委員 そうしないと、発言の本数が多いと、載せる載せないの判断ができませんので。

委員長 今ほど、副委員長からご意見がありました。が、持ち越すというよりも、市議会だよりでは掲載しないということで、ホームページや別の媒体を使った中でも、公表という形で決定させていただいてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのように当委員会として、決定しますので、よろしくお願いたします。以上で、検討事項の協議は終了いたしましたし

た。本日の協議結果について、事務局のほうに、もう一度確認させますので、福原議事調査課長よろしくお願いします。

議事調査課長

それでは、検討事項の掲載されたA4の縦長のものをご覧ください。

まず、上から12番、表紙・デザインは、今年度につきましては、現状どおり。ページ数を増やすことについては、今後検討していくということでございます。

13、14につきましては、2ページ、3ページの定例会の概要のところですが、そこにQRコードを入れる。賛否一覧へ直接つながるQRコードを入れるということです。

写真につきましては、できるだけ一カ所に固めるというよりは、ある程度散らしたものをデザインしていく。顔写真につきましては、現状のものを使用する。質問項目は、全部載せることはできないかもしれませんが、スペースに収まる範囲で大項目を載せる。

15、16、17、18までいきまして、委員会視察につきましては、目的、視察地、項目、視察しているところの写真を載せる。目的等につきましては正副委員長と協議させていただきたいと思います。

17、18 常任委員会の質疑は、従来どおりで記載する。

19 の写真につきましては、できるだけ載せていくということで、レイアウトも固めるのではなくて、できるだけ散らして乗せていく。

20 番のキャッチコピー、マークにつきましてはキャラクターなどを入れていくということで、今回表紙にだけ入っていますけど、今後全体のレイアウトを見ながら、他にも入れられるところがあれば、正副委員長とご相談しながら入れていきたいと思えます。21 番の他の市町村からの視察の受け入れですが、これにつきましては掲載する。ただ、毎回掲載するかどうかは、またその時のレイアウトですとか内容を見ながら決めていきたいと思えます。

22 番、23 番の討論につきましては、現状ではスペースの関係から難しいということで、ホームページ等で案内したいと思えます。確認に関しては以上でございます。

委員長

ただ今の説明について、何かご質問があれば。

舎川委員

一つだけです。全部決定したので、今後のことです。

最後の討論のことについて、決まったのでいいのですが、件名と内容の趣旨が違う時についてです。件名では、すごく素晴らしいことが書いてあるが、内容が、我々の意見として反対しなくてはいけないという時に、×○だけでは、見た目、なんで自民党反対しているのだと考えられる場合がありますので、今後、柔軟に対応していただきたいなと思いますので、そこだけよろしくをお願いします。

委員長

先程から、この項目は考えないということではありますが、そのことについては、この媒体ではなくて、使えるほかの媒体で検討していくということをお願いしたいと思います。ほかに何かご意見は。

高田真里委員

確認ですが、この表紙のデザインは、今年度は変えないのですね。それが12番の考え方ですね。

委員長

そうです。前回の中で、とやまのこの部分ですね。

高田真里委員

表紙の頭の部分です。

委員長

今年度は継続しましょうということですよ。

議事調査課長 変えることは可能です。変えることは、自由にできます。

委員長 可能なのだけど、前回の時に、今年度はこのままいきましょうということで、次年度については、議会報編集委員会の中で、今度、全体のフレーム、枠組みのデザインも含めて検討するということです。

松井邦人委員 前回の委員会で、確かこのフレーム、ロゴとかに愛着を持っている人がいるから、これを残してみましようということで、前回の時に決まっていたと思いますので。

委員長 そこで決まったので。

高田真里委員 そうですか。

岡部委員 とりあえず、顔なのでという言い方をしたのですが。変えるときは、年度で変えるとか。

松井邦人委員 途中で変えるのは。

岡部委員 表紙は変えないということは、絶対ないのではないのでしょうか。

委員長 変えるのであれば、変えられると思います。

高田真里委員 説明では、変わったイメージがつかめない。

岡部委員 とやま市議会だよりのロゴは顔です。

松井邦人委員 確かそういった形で、ロゴは変えないということであったと思います。

委員長 それでは、本日の協議結果について、本委員会として、決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ご異議なしと認めます。よって、本委員会としまして、「とやま市議会だより」の協議結果について、決定いたしました。これで、本日の協議事項は、全て終了いたしました。次回は、10月3日10時に、議会報編集委員会を開催し、とやま市議会だよりN○54（9月定例会号）の発行について、協議したいと思いますので、委員の皆様にはご出席いただきますようお願いいたします。なお、中期の課題として分類した項目については、予算なども関係してきていますの

で、次回以降に協議することになると思いますが正副委員長で協議して、改めてご案内いたしますので、また、委員の皆様には、適宜、調査・研究を進めていただいて、ご意見があればお聞かせ願いたいと思います。なお、お手元に私の名前でとやま市議会だよりの一般質問の掲載について（お願い）という文があります。これは読んでいただければわかることですが、このことについて各議員に配付させていただきたいと思いますので、また各会派に戻られまして、こういった趣旨であることを、ご理解いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

これをもって議会報編集委員会を閉会いたします。

平成29年9月13日

議会報編集委員会記録署名

委員長 高田重信

署名委員 岡部 享

署名委員 木下章広